

※ 今週のアウトルック (6/22~6/26)

先週は、水曜日深夜のFOMCまではドル高が進み、その後はドル安に転換するという展開となりました。

ギリシャのデフォルト懸念が日増しに高くなる中、大きくユーロ売りが進むという状況にはまだ至っていません。

今週はドル売りがもう一段に進むのか、またユーロの大きな売りはいつ出てくるのか、このあたりが焦点となりそうですが、来週の米国雇用統計やギリシャのIMFへの返済期限を控え、大きくは動きづらい展開になるかもしれません。

先週ドル円は、FOMCへの期待感からそれまでは上昇しましたが、その後下落トレンドとなっています。

今週も、米国の利上げ時期や日銀の政策に関する要人発言、マクロ指標の善し悪しに、神経質な展開となりそうですが、来週のイベントを控え、動きづらい部分もあります。

ただ、今後のギリシャ情勢を決定づけるような要人発言には、十分な注意が必要かもしれません。

ドル円の予想レンジは121.5円から125円です。

先週ユーロは、ギリシャ情勢に対する緊張は日に日に高まるものの、大きくユーロ売りが進むという状況には至っておりません。

今週もギリシャ情勢に対する神経質な動きは継続されるように思いますが、場合によっては、ユーロ売りが進んでも一時的なものに留まり、それほど大きくユーロが売り込まれることがない可能性も否定できないように思います。

ユーロ円の予想レンジは136円から142円です。

ポンド円は、若干ピークアウトする気配もありますが、200円をターゲットとした、上昇トレンド継続の可能性も強いように思います。

ポンド円の予想レンジは193円から201円です。

今週も、ギリシャ情勢に関する発言などを警戒しながら、神経質な展開となりそうです。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。